

### 参考資料3 先進事例調査

- ① 場 所：「忍野 しのびの里」 （山梨県南都留郡忍野村）
- ② 日 時：平成 30 年 11 月 10 日 14 時～17 時

#### (1) 忍びの里全体図



■忍野 しのびの里 (<https://www.oshinoninja.com/>)

- ①忍者ショー
- ②からくり屋敷
- ③手裏剣道場2アトラクション
- ④キッズ忍者修行体験
- ⑤忍術皆伝の道（アスレチック）
- ⑥日本庭園
- ⑦足湯
- ⑧食事処「雪月風花」
- ⑨ふじみ茶屋
- ⑩お土産処

上記のとおり、忍者を核にして、外国人、日本人ともに、子どもから大人までが「食」や「忍者体験」などを楽しめる施設となっている。

## (2) モデルプランの設定

モデルプランとして設定されているのは、本施設がターゲットとして集客しようとしている年齢層であり、モデルプランを示すことによって長時間滞在と消費の拡大を図ろうとしている。Webサイト (<https://www.oshinoninja.com/>) の紹介ページでは、以下のモデルプランが示されている。

### ① モデルプラン（親子）

	<p>忍者衣装に着替える→手裏剣道場で景品GET→食事を楽しむ</p> <p>忍者衣装に着替え、忍者になりきるプランがおすすめです。</p> <p>「手裏剣道場」や「忍術皆伝の道（アスレチック）」で汗を流した後は、お子様用もご提供している、食事処「雪月風花」にてゆったりランチ。</p> <p>オリジナル忍者グッズをお土産に買えば、おうちでも忍者になれるかも！？</p>
---	---

### ② モデルプラン（友達・カップル）

	<p>からくり屋敷で写真撮影→茶屋で一息→足湯で語らう</p> <p>撮影スポットがたくさんあるしのびの里では、さまざまな場所であなただけの思い出に残る写真撮影を行ってください。ひとしきり撮影を楽しんだ後は、「ふじみ茶屋」のお団子やチョコ忍者ソフトでひと休憩。最後にゆったりと足湯につかり、雄大な富士山を眺めながら、リラックスしてください。</p>
---	--

### ③ モデルプラン（団体）

	<p>忍者ショーを見る→食事を楽しむ→日本庭園を散策</p> <p>忍者集団「風雷刃（らいふうじん）」による本格忍者ショーを楽しんだ後は、団体様専用ブッフェのお食事をお楽しみいただけます。おなか一杯になった方から、ゆっくり日本庭園を散策いただき、富士山と四季折々の花が織りなす情景をお楽しみいただけます。</p>
---	--

### (3) 管理者ヒアリングについて（概要）

ヒアリング項目	ヒアリング内容
料金設定	・平均単価 大人:1800円 子供:1300円
1日利用客数	・最大1日1,600人来園（GW時）
滞在時間	・滞在時間は、1時間半～2時間ほど
スタッフ人数	・事務（正社員）3人、調理人（正社員）2人、 ※繁忙期は、バイト15人（最大）
駐車場収用台数	・収用台数200台 ⇒1日2回転程度で稼働しており、今のところ支障はない。
来訪者	・年間約12万人が来訪しており、そのうち、約7万人が日本人、約5万人が外国人となっている。 ・外国人客のうち8割が食事をメインに来訪している。 ・外国人客が収入のメインとなっており、毎日都内からバス3台程度の来訪がある。 ⇒これは、観光ツアーに「食事」として組み込んでもらえるよう、軸となる5事業者（主要観光業者、オーストラリア新興業者など）をはじめ、営業活動を頑張ってきた結果である。
食事への配慮	・ベジタリアンに配慮した料理を揃えている。 ・東南アジアからの来訪者はイスラム教徒が多いため、ムスリムを登録する予定（ヒアリング時点）である。
周辺観光地との関係	・併せて周辺の水族館に行く観光客が見られる。 ・忍野八海や富士山観光の後に来訪する方も多く見られる。
忍者ショー等の実施	・使用していない部屋の段構造（※ステージ利用）及び収納スペースを利用しようと考えたのが忍者ショーのきっかけである。毎日ショーを開催しており、2パターンの構成（武具説明中心、殺陣中心）にしている。 ・からくり屋敷は、若手育成のための施設として使用しており、実演案内は土日のみで、4回開催している。 ・からくり屋敷の仕掛け迷路は、後から整備を行った。 ⇒屋敷内には監視カメラを設置し、迷う方や詰まる方がいないかをモニターで確認している。

ヒアリング項目	ヒアリング内容
<p>経緯、より詳細な実情など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショーをなんとかしたいと思い、視察を行い、師範からのアドバイスを受けた。これにより、中途半端なショーではなく訓練されたショーを展開している。</li> <li>⇒演技の構成をまとめるのに紆余曲折があった。今の形になるのに、半年間ほど試行錯誤している。</li> <li>・料金設定について、最初は、食事処、ショー、屋外アトラクション等でそれぞれ細かく分けていたが、単価はなかなか上がらなかった。また、チケットの確認などのため、人件費もかさんでいた。そこで、抹茶体験などの付加価値をつけ、セット料金にすることにした。セット料金にした当初は売上げが減少となり、影響を受けたが、少しずつ取り戻すことができた。</li> <li>・冬は雪の影響もあり、観光客は落ちるため、それ以外の期間に集客をするようにしている。</li> </ul>
<p>現場の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットの選び方によるが、外国人と子どもが喜ぶもの、期待しているものはほとんど一緒であると感じている。ショーのアクロバットなどを見て、子どもは屋外で体を動かしたくなるようである。</li> <li>・子どもが来たがるので、親が連れてくる事例がある。最大で週3回来訪した子ども（親子連れ）のリピーターがいる。</li> <li>・外国人客の中には、甲賀や伊賀ではなく、なぜ忍野村で「忍者」を扱うのかと聞く方がいる。外国人客も甲賀忍者や伊賀忍者のことをよく知っている。</li> <li>・遊び場がまだ少ないと考えており、忍者と関連付けた遊具を増やす予定である。ちなみに、忍者スタンプラリー（ストラップ付き 500 円）は、後から取り入れた遊び要素である。</li> </ul>